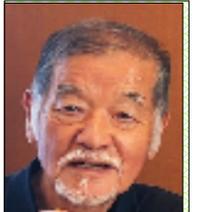




第138号
2025年2月23日

西宮市北六甲台地区
社会福祉協議会
会長 日高 昭夫

●発行/北六甲台地区社協●発行月/偶数月●編集/北六甲台地区社協広報研修部●配布エリア/北六甲台・上山口2,3,4丁目



次世代共存の地域コミュニティ
年頭所感
会長 日高昭夫

少子高齢化の現状

少子高齢化が語られて久しいですが、世界でも高齢化先進国の我が国では、どちらかと言えば高齢化に焦点が当たってきたように思えます。高齢者雇用、定年延長、介護保険、在宅医療、認知症ケア等々。高齢者対応は地域でも身近な支え合いの課題でもあり、地区社協の取組みの中心にもなっていました。

中学部活の地域移行

ところがいよいよ地域でも少子化そのものへの対応が迫られる事例が登場しました。今、全国の公立中学校で対応が迫られている「部活動の地域移行」という課題です。少子化の進行で生徒数

はどんどん減少していきます。学校の統廃合も避けられない状況です。中学校の部活動も部員数の減少で部の存続が危ぶまれています。部活を実質的に支えている教員の負担の大きさとこの要因もありませんが、本質は少子化です。二〇二六年九月をメドに中学校の部活動を丸ごと地域に移行させようという文科省の計画が進行しています。



子どもの放課後の居場所は？

ところで地域に部活動の移行可能な受け皿はあるのでしょいか。体育系

の部活動は辛うじて地域のSSC21の対応がイメーシできます。音楽、絵画、書道等の文科系の部活動は保護者や本人が個別に地域の教室やサークルを探すしかありません。いずれの場合も月謝や送迎等の保護者の負担は大です。それ以上に保護者にとっては「子どもの放課後の居場所」でもあった部活がなくなることの影響は甚大です。

地区社協の多世代交流イベント”ぬくもりフェスタ”が盛況です。二年目の昨年は、子どもたちとその保護者五六名が参加し一般参加者の四〇%を占めました。地域で子どもたちが参加できる機会の潜在的なニーズが窺えます。

残念ながら中学生対象の居場所については受け皿がありません。放課後クラブ”といったイメージの小中学生対象の居場所、交流、学びの場が求



められています。

「部活動の地域移行」の受け皿づくりには、小中学生の地域での居場所や交流を通じた「地域の体育・文化活動情報」を共有できる環境づくりが必要ではないでしょうか。

次世代共存の地域社会

少子化対応とは人口減少社会にあって次世代を担う子どもたちの過ごしやすき環境を整えることだと思えます。それは同時に子育ての負担の大きい現役世代の支援の意味合いもあります。

高齢化の対応に偏りがちだった地域活動ですが、今や少子化そのものの対応が迫られています。

多世代交流から一歩踏み込んだ”次世代共存”の地域社会の取組みが重要です

北六甲台ふれあい喫茶

Rグレイス さよならコンサート

結成から解散までの二十五年

結成時の戸惑い

始まりはPTAのコーラスの発表会でした。映画、天使にラブソングをから、オー・ハッピーティを楽しく歌いました。これが縁で十五名程集まりゴスペルグループ（R・グレイス）を結成し、歌って踊れることに憧れて活動を始めました。



しかし、私達には歌って踊ることが難しく、音符を追って踊れない、踊っていると歌えない。間もなく挫折。それから色々なジャンルにチャレンジしました。懐メロ、ポツ

プス踊らないゴスペルソング讚美歌、最新ヒット曲、約二〇〇曲は歌っています。

施設やイベントに出演

活動先が喜んで聞いて頂きたい一心で、ななくさ各施設、山口苑、名塩・三田のデイサービス、幼稚園、神戸のカラオケ大会のボランティアゲストとして三度出演、福知山のひょうたんまつりゲスト出演、その後滋賀県の老人ホームに出演してから、メンバーでコンサート後に観光をしたりして有意義な時間を過ごす事が出来ました。

結成十周年、二十周年とサンパレス六甲にて盛大にアニバーサリーコンサートも開催し、多くの方々からご協力を頂き感謝があります。

私の思い出は、いつも歌を聞いて頂いた後の笑顔、拍手、涙をぬぐい聞いて頂いた事です。私達

の活動がボランティアの一助になれば幸いです。

お礼と解散お知らせ

最後に長期にわたり、地区社協「ふれあい喫茶」に出演のお声を掛けて下さったスタッフの皆様には、いつもお世話になり、美味しいコーヒーも頂き有難うございました。

そしてRグレイスのコンサートにご来場して下さいました皆様本当に有難うございました。今回の公演を最後に解散することになりました。皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

(代表 榎原利恵子)



ついで場 あん

おしゃべりやイベントのひと時

北六甲台三丁目の安齋さんのご自宅で月一回開かれる「キタロクついで場 あん」では、手作りの美味しいお昼ご飯をいただきながら、「介護の悩み」や「最近の出来事」などをお喋りしています。主催者の安齋さん自身はご自身の介護経験から、平成二八年に介護者が交流できる場として「ついで場 あん」を立ち上げましたが、現在では、介護者だけでなく、地域に暮らす様々な人が集う場となっています。

参加者の何気ない会話の中から、「こんなことできるよ」「こんなことやってみない？」など、新しいアイデアが生まれ、認知症をテーマにした映画上映会をしたことも。

最近では、「笑いヨガ」や「味噌作り」「タッチケア（マッサージ）」など参加者が実施する催しも増えています。

また、十一月十五日(日)は、参加者のギターに合



わせて歌う、歌声喫茶が開催され、参加者は声を合わせ、和やかなひと時を過ごしました。

「ついで場あんの概要」

キタロクついで場 あん
開催日：第二または第三日曜日 十二時～十六時
参加費：五百円（昼食代、喫茶は別に百円）

対象者：地域の方どなたでも
場所：北六甲台三丁目 安齋さん宅

(広報研修部 久慈)

安心プラザのボランティアセンター活動の紹介

北六甲台の安心プラザでは、ボランティアセンターの相談窓口以外にも、定期的に「いきいき体操」や「カフェ」を定期的開催し、地域の貴重な交流の場になっています。

いきいき体操きたろくボラセン

歩みと概要

安心プラザで「いきいき体操きたろくボラセン」が始まったのは平成二十九年七月です。

市社協のインストラクターによる講習会が開催されたのが始まりで、その後、毎週木曜日の午後一時三十分～三時に実施するようになりました。現在は毎週木曜日は変わ



りませんが、午前十時～十一時三十分と午後一時～三十分の二回実施しています。いきいき体操には口腔版とスペシャル版があります。

口腔版概要

口腔版は口の機能の衰えは「寝たきり」につながる懸念がある口の機能の衰えを防止するものです。噛む力の衰えや入れ歯の不具合、飲み込む力の衰え、だ液の分泌の減少などから、栄養がとりにくくなったり、口の中に細菌が増殖しやすくなります。口の機能の衰えは、全身に影響し、寝たきりや介護が必要な状態になるおそれがあります。口腔版は口の様々な機能を維持するために、舌、

頬、唇などの筋肉を鍛えます。

スペシャル版概要

スペシャル版は日常生活の中で「座る」「立つ」「歩く」「またぐ」「上がる」「下がる」「物を持ち上げる」といった動作を行いやすくすることを目指す。また、この体操は加齢によって筋力や心身の働きが低下して、「要介護」状態に近づくいわゆる「フレイル」の進行を遅らせる効果があります。皆さん是非「いきいき体操」に参加して健康を維持しましょう。



開催概要

皆さん「ぬくもりカフェ」をご存知ですか、安心プラザの二階の地区ボランティアセンター内で、毎週火曜日と木曜日の午前十時～十二時に地域の憩いの場として開催しています。美味しいコーヒーを用意してお待ちしています。お気軽にお立ち寄りください。

参加者の来訪のキッカケ

開催の都度訪問されるAさんは、何処か大阪の百貨店にでもショッピングに行くのかなという素敵な服装で来られます。自宅で育てたお花を時々持参して頂き、テーブルに飾らせて頂いています。Bさんは毎日安心プラザ付近を散歩されています。カフェの看板を見られてふらっと立ち寄り来訪されるようになりました。Cさんは将来お世話に

ぬくもりカフェ

なりたい介護施設を自分の目で見て気に入った施設を探したいという想いで訪問されました。足が弱いのでカーボランティアを利用してあちこちを見学したいというご希望を話されています。

その他、午前のいきいき体操が終わられるとコーヒーを飲み一息ついてからお帰りになられます方もたくさんおられます。

場所が北六甲台の東の外れにあり中心部から遠いですが、多くの皆様の訪問をお待ちしています。



ボランティアセンター だより



本年もどうぞよろしくお願ひいたします

No.70



ぬくもりフェスタ

昨年11月23日に開催された社協感謝祭「ぬくもりフェスタ」沢山の地域の皆さまが足を運んでくださいました。

少しでもボランティアセンターを身近に感じてもらえるよう、会場に「ボラセン出張相談窓口」を設けました。

パネル展示では、ボランティアセンターの役割や登録ボランティアさんの活動を紹介しました。ご覧いただけただしょうか？

当日は大勢のボランティアさんが屋台や喫茶、子ども広場のスタッフとして活躍してくださいました。ありがとうございました。

「ぬくもりフェスタ」が社協やボランティアセンターを知るきっかけになれば幸いです。

そして地域の交流の場として、皆さまに楽しんでもらえるイベントになると嬉しいです♪



カーボランティア募集中！

くわしくは
ボランティアセンターに
お問い合わせください

利用者が急増しているカーボラ…しかし、担い手不足が深刻です。
月一度だけ、決まった曜日だけでもOKです！ボランティアしてみませんか？

あなたの地域の ボランティアセンター ぬくもり



活動地域は上山口2、3、4丁目と北六甲台です

電話・FAX: 078-904-4576

相談日: 毎週 火曜日・木曜日 (祝日休館)

時間: 午前 9時00分~12時00分

場所: 北六甲台地区ボランティアセンター (安心プラザ2階)
西宮市北六甲台3丁目31番地1号

地域の
相談窓口
です！

